

★ 操 作 方 法 ★

マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。

じょ れい そう りよ れい かい

除霊僧侶 霊海

其の二 地縛霊



誰かが来るのを
期待しているかのように
ワクワクしながら
待っていた



私は各地で起きる
怪現象を解いて歩く
托鉢中の僧侶霊海である



千葉県流山の飛血山で
起きている現象を耳にした
私は八月二十一日飛血山の
大木へ向かった





大木はすぐに分かった
女性は噂通り
枝に座っていた…



登って
いるの

ここからだ
と来る人が
良く見える
から



どうして
木に登って
いるのかな？



絶対来るわ
恋人と二人で
新しい人生を
ここからスタート
するんですもの



待ち人は
来るのかな？

もうすぐ
夕暮だが



私はここへ
来る前に
女性のことを
調べてみた

女性には三十年前に
恋人がいた
女性と恋人の両親は
二人が付き合う事に
大反対した



恋人の親に
駆け落ちが分かり
家から出るのを
阻止され約束した
大木に行く事が
出来なかった



諦めきれない女性は
恋人と駆け落ちするため
八月二十一日 大木の下で
待ち合わせの約束をした

だが恋人は
来なかった

そんな事とも知らず
雷雨の中 恋人が
来ると信じて
待ち続けた



不運は連鎖
するもので
女性に落雷し
一瞬で命を落した



女性は自分が死亡した
自覚が無いまま大木に
地縛霊となり棲みついた

三十年間も
大木に座り
待ち続けた

地縛霊となった女性は
毎年八月二十一日になると
恋人に会うため





私が女性に出来る
事と言えば
一刻も早く地縛霊から
解き放し
行くべき場所へ
導いてやる事だった



私の前に
降りてきた

すると
女性の体が
宙に浮き



私は女性に
木から降りるよう
説得した



女性は自分が
死んだ事を
受け入れる事が
出来なかった

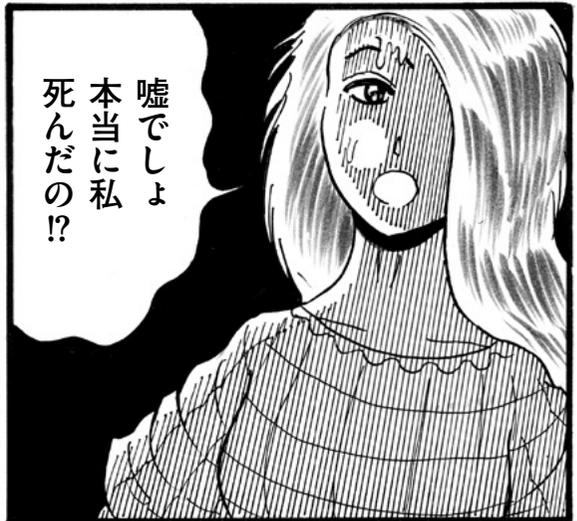
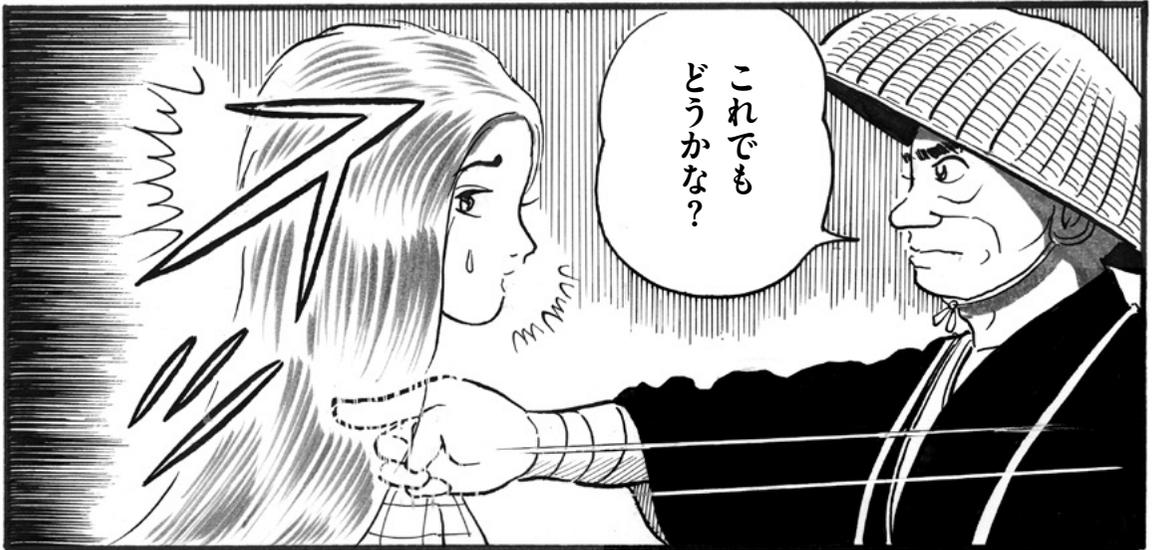
私が落雷で
死んだって？



お坊さんが
私に何の用
なの？



私は女性に
あなたは落雷で
死んだと告げた

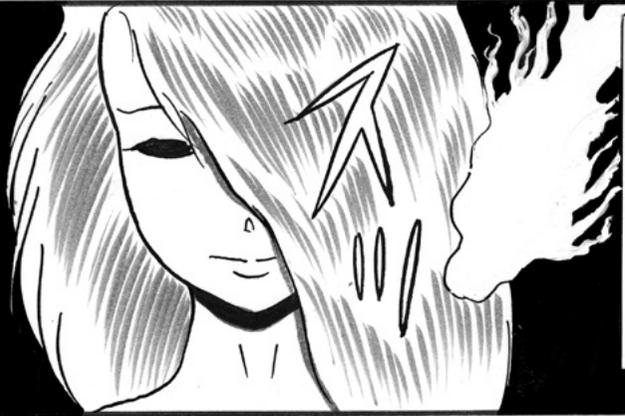


しばらくすると
女性は落ち着きを
取り戻していた



そしてー
自分の死を
受け入れた
様子だった

私は女性に
憑りついた
地縛霊の除霊を
始めた



十分ほどすると
女性の体から
地縛霊が
出ていった

女性の恋人は女だった
だから親達は二人の
仲を引き裂いたのだ

同性愛者に対する
世間の風当たりは



三十年前と今とでは
随分違う
せめて二人が今の時代に
生れていたのなら
違った人生を送ったで
あろう……